

# 次年度に重視すべき施策の方向性について

## 次年度に重視すべき施策の柱

- ・総合計画進捗状況の評価結果を踏まえ、今年度の重点施策である『子育て環境日本一の実践』、『新幹線開業に向けたにぎわいの創出』、『グリーン&デジタル都市への挑戦』を継続。
- ・また、令和3年度に約77億円に到達したふるさと納税寄附金について、各政策の取組みを加速させる資源として捉え、寄附金の市民サービスへの還元が目に見えるよう有効活用を促す。

### 次年度に重視すべき施策の柱

①子育て環境日本一の実践

②新幹線開業に向けたにぎわいの創出

③グリーン&デジタル都市への挑戦

各政策を加速

ふるさと納税寄附金の有効活用

総合計画の全政策・施策を推進するとともに、中でも、予算編成の柱に注力することで、総合計画の目的をより高い水準で達成

人口減少対策の推進

## 外部評価委員会での意見(概要)

- ・重視すべき施策の柱に関する意見と関連し、ふるさと納税寄附金の活用に係る意見を提案(3頁参照)
- ・子育て環境日本一に関連し、公民館は子どもが社会性を学ぶ場としても重要だが、現状、利用者数が少ないばかりか、その利用者が一部の方に偏っていることが課題である。より多くの若者に利用してもらえるよう、公民館の事業を盛り上げたり、事業の広報周知について、現行の広報手段に加え、より高い発信力のあるSNSの活用を検討してはどうかとの提案があった。

# ふるさとと納税寄附金の活用方針について

## ふるさとと納税の活用方針

- ・ふるさとと納税寄附金について、『市民還元』を念頭におき、以下のとおり活用方針を設定。
- ・外部評価委員会にて、3ページのとおり、多数の意見やアイデアをいただいております、従前の事業への活用だけでなく、意見の趣旨を踏まえた事業の設定を検討する。

### 活用方針

## 『次世代へつなぐ、笑顔があふれるまちづくり事業』へ活用

重視すべき施策の柱に基づく事業に重点配分するとともに、「子育て・教育の支援」、「文化・芸術・スポーツの振興」、「地域産業・観光の活性化」、「インフラの維持・拡充」など、恩恵が現世代に留まらず、次世代にも波及する、市民の笑顔につながる事業に積極活用



### 活用方針に基づく 充当事業の例

#### 子育て・教育への支援

- ・学校、公民館等の整備・改修・備品充実、子育て施設の維持運営
- ・子育て世代や子育て支援団体等を直接支援する補助金、助成金 等

#### 文化・芸術・スポーツの振興

- ・敦賀まつり、花火大会、文化行事などの各種イベント
- ・文化施設等の維持運営及び整備、充実 等

#### 地域産業・観光の活性化

- ・企業等への補助金、助成金
- ・敦賀ブランドの発信や観光施設の維持運営及び整備、充実 等

#### インフラ(市民の生活基盤)の維持・拡充

- ・道路や歩道等の整備、充実
- ・公共施設のリフォーム、建替え 等

未来へのストック(寄附目的に応じた目的基金に積立、後年度使用)

# ふるさと納税寄附金の活用方針について

## 外部評価委員会での意見

### 【全般に関する意見】

- ・現在の充当先は、ふるさと納税を使わなくてもやっていく事業。『せっかく全国から寄附をもらうので、何か新しいこと』をやってほしい。
- ・各分野(寄附金の使途)で、下記のアイディアのように『1つくらいは目玉となる事業を』やっていくべき。
- ・返礼品のニーズ開拓で得た知見や経験を行政サービス全般の水準向上に活かしてほしい。

### 【子育て・教育に関する支援】

#### (子育て)

- ・子どものいる世帯への支援が重要。『第3子目に1,000万円支給』というくらいの強いメッセージが良い。
- ・『生まれた時も大事』だが、『子どもにお金がかかるのは、高校から大学』。そこも大切に事業をして欲しい。
- ・各支援の『所得や人数といった制限を撤廃』し、その部分に寄附を活用すべき。
- ・県外に出た大学生がUターンのため、就職活動する際にかかなりの費用。そういった部分への支援も手厚くして欲しい。
- ・まつり、花火大会など、県外から学生が戻ってきやすい機会に参加しやすい仕組みを作ってもらいたい。

#### (教育)

- ・公民館が新しくなると、若い人も来やすくなるので、リノベーションをするのも良い。若い人が集まる機会を設けて欲しい。
- ・市内大学のキャンパス拡充や私立大学の誘致など、大学関係を強化して欲しい。
- ・地元にある大学は大切。敦賀は交通の便が良いので、サテライトの学び場の誘致に取り組むべき。

### 【文化・芸術・スポーツに関する支援】

- ・既存のイベントに加え、『芸術祭などのような新しいイベントを実施』して欲しい。また、それらを継続して実施するため、プレーヤーの育成にも注力すべき。
- ・県内外から人が集まる、『アーティストが来るような場所を整備』するのにお金を使うのも良い。(今ある施設の高質化)
- ・新幹線が来るので、文化、スポーツの全国大会などの開催も期待できるが、イベントを市内でする場合に支援が無い。『文化イベントへの支援』にも力を入れて欲しい。

### 【地域産業・観光の活性化に関する支援】

- ・ふるさと納税の『返礼品開発に活用』すべき。いつまでも好調が続くとは限らないので、人気商品を増やす取組みを。
- ・チャレンジが必要だが、役所は失敗できないなど組織文化の足かせ。例えば、『民間とまちづくりファンド』を作り、チャレンジを支援できる仕組みができると面白い。

### 【インフラの維持・拡充支援】

- ・新しい施設を整備するより、公民館、文化施設などの『公共施設のリノベーション』を進めるべき。
- ・市内の各施設を結ぶ交通インフラについて、『点から線、線から面』ではなく、『点から面、面同士を結ぶ』形で拡充を進め、利用率や利便性の向上を図るべき。